

# 沖縄21世紀に30年



第3回

美ら海を未来につなげるために

## 赤土が陸からサンゴ礁へ流出してしまう！

本県は、亜熱帯海洋性気候のもと、サンゴ礁が発達した青い海と貴重な生物が数多く生息し、固有の自然環境を有しています。赤土は雨によって流出しやすく、農地や民間・公共の開発事業からの流出が大きな問題となってきました。そして陸から川や海に流れ出た赤土は、サンゴなど様々な生物に悪影響を与えています。



もっちゃん

### 沖縄県赤土等流出防止対策基本計画とは

県では赤土等流出防止条例の制定など、これまでも様々な流出防止対策を実施してきました。しかし貴重な自然環境を次の世代に引き継ぐためには、より一層の流出量の削減が必要です。そこで関係機関および県民が目標を共有し、流出防止対策を推進するため、平成25年に「沖縄県赤土等流出防止対策基本計画」を策定しました。この計画では、県全域に76の監視海域を設定し、それぞれの海域に環境保全目標および流出削減目標量を示し、令和3年度までに目標達成を目指しています。

### 赤土の流出量は徐々に減っています

基本計画の中間年度である平成28年度に実施した中間評価では、平成28年度までの5年間で、赤土の流出量は27,400トン(平成23年度比9.2%)削減されました。これは基本計画での流出削減目標量の93,200トンと比較して、決して高いものではありませんが、海の状況は緩やかな改善傾向にあると評価されました。県では、今後とも環境部、農林水産部、土木建築部等の関係部局との連携のもと、目標達成に向け取り組んでまいります。美ら海を未来につなげるため、県民の皆様のさらなるご理解・ご協力をよろしくお願いします。

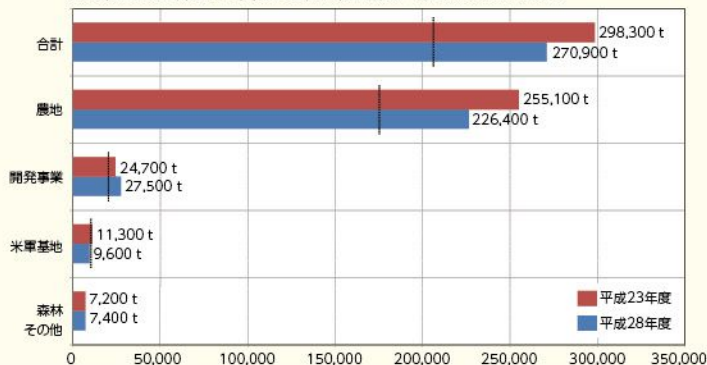


きれいなサンゴ礁



赤土で赤く染まった海

赤土流出量(計算値)の変化。破線は流出削減目標量を示しています。



問い合わせ

環境保全課

電話:098-866-2236

FAX: 098-866-2240

広告

